
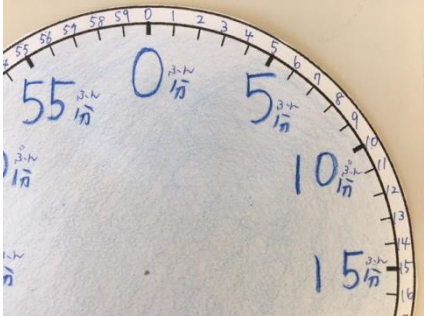


大項目	時計
小項目	時計を読む
タイトル (教材名)	「時間時計」と「分時計」
目的 身につけてほしい力	アナログ時計を読むことができる。 長針が「時間」、短針が「分」を表していることを理解する。
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	<p>①インターネットで「幼児の学習素材館」を検索し、「時計の文字盤と針(3)」を無料ダウンロードして3枚印刷する。</p> <p>②「時間時計」を作る文字盤の数字の横に「時」を記入する。(写真①) 必要に応じて中心からそれぞれ数字の目盛りに向かって放射状に線をひく。</p> <p>③「分時計」を作る文字盤に書かれている数字を消して印刷し、「0分」、「5分」…と数字と「分」を書く。(写真②) 必要であれば、目盛りの外側に、1分単位で数字を書く。</p> <p style="text-align: center;">写真①</p>  <p style="text-align: center;">写真②</p> 
教材の使用方法	<p>上に通常の時計を置き、その下に「時間時計」、「分時計」を配置する。</p> <p>①「時間時計」、「分時計」の順に読み「2時」、「48分」と読む練習をする。</p> <p>②通常の時計を見て、針を指でさして確認しながら「2時48分」と読む。</p> <p style="text-align: right;">左下:「時間時計」 右下:「分時計」</p> <p>※①、②に取り組むことにより、長針と短針の違いを認識する。</p>
その他	<p>参考文献「これならできる・使える特別支援教育「かず&lt;算数&gt;」の授業ヒント集60 算数が楽しくなる自作教材活用術」 (松村 齋、明治図書出版、2006)</p> <p>参考 URL 「幼児の学習素材館」 <a href="http://happyililac.net">http://happyililac.net</a></p>